



公園へでかけよう！

Discover London's Parks
第5回

Kensington Gardens

ケンジントン・ガーデンズ

ロンドンの地図を開くと、中心からやや西側に大きく広がる緑の帯が目に入ります。その中心に縦に長く伸びる池を挟んで左側にあるのがケンジントン・ガーデンズ。日射しも夏らしくなってきた最近では、ここでも、犬の散歩やジョギングする人たちに加えて、日光浴やピクニックをする人もたくさん見かけるようになりました。

Text&Photo : Mami McGuinness (www.mamimcguinness.com)



開園時間：6:00～日没

最寄り駅：Lancaster Gate & Queensway, Bayswater, High Street Kensington

連絡先：Kensington Gardens Office, The Magazine Storeyard, Magazine Gate, Kensington Gardens, London W2 2UH
Tel : 020 7298 2100
www.royalparks.gov.uk/parks/kensington_gardens/

もともとはハイド・パークの一部として存在していたケンジントン・ガーデンズ。公園内には、ケンジントン・パレス、オランジェリー、アルバート・メモリアル、サーペンタイン・ギャラリー、ピーター・パンの彫刻など、「見所」がたくさんあって、園内で記念写真を撮る人々の姿をあちこちで見かけます。なかでも、特にいつもにぎわっているのが、ダイアナ・プリンセス・オブ・ウェールズ・メモリアル・ブレイグラウンドと呼ばれる場所。これは、木造の海賊船をメインに様々な遊具が設置されている、故ダイアナ妃を記念して作られた、子どもたちの遊び場です。2000年6月にオープンして以来、毎年7万人以上の子どもたちが訪れているといい、子ども連れのファミリーには大変人気のあるエリアです。

さて、その故ダイアナ妃が住んでいたケンジントン・パレスがあるこの公園ですが、100年以上にわたってハイド・パークの一部だったこの地を、1689年にウィリアム3世が購入したところからその歴史が始まりました。王とその妻メアリー王妃は、ハイド・パークの西端にあつたノッティンガム・ハウスをケンジントン・パレスと名付け、ロンドンでの住まいとします。宮殿のガーデンはメアリー王妃の指示によって作られ、オランダ出身のウィリアム3世が祖国を思い出せるようにと、オランダ様式のデザインが取り入れられました。

そして、この公園がもっとも大きく変化したのが、1728年、ジョージ2世の時代です。王妃キャロラインのアイデアにより、丸池などが加えられ、このときすでに、現在わたしたちが見ている公園には近い姿になったと言われています。その後、ケンジントン・パレスで生まれたビクトリア女王が、1837年に女王に即位。その居をバッキンガム・パレスに移すやいなや、人々の注目はそちらに集まり、この公園への興味も薄れ、19、20世紀には、公園にとっての大きな変化はそれほどありませんでした。

ところが皮肉なことに、ケンジントン・パレスの住人であったダイアナ妃が不慮の死を遂げたことで、この公園には先に紹介したように、王妃を記念した子ども用の遊び場や「ダイアナ・メモリアル・ウォーク」と名付けられた歩道が造られ、再度人々の注目を集めるようになりました。

また、映画のロケ地としてもよく利用されているのがこの公園。ジョニー・デップ主演の『ネバーランド』や、『リジッタ・ジョーンズの日記』などでも撮影されたシーンがあるそうです。

